



鈴木貢会長

令和6年度通常総会を、
5月18日土曜日、かぬまケ
ーブルテレビホール（鹿沼
市民文化センター）大会議
室に多くの会員が出席し実
施しました。

来賓としては、佐藤信市
長をはじめ、神谷幸伸県議、
松井正一県議、片柳伸一商
工会議所会頭、谷中恵子市
議会議長（代理石川さやか
議員）、福田義一副市長、市
議会教育福祉常任委員会
の佐藤誠委員長、増渕靖弘
副委員長、鹿妻武洋委員、
仲田知史委員、早川勝弘委
員、阿部秀実委員、教育委員
は、芸術力を発信し、
した「文芸フェスティバル」



会員表彰 小林一行さん(左) 飯塚正人さん(右)

員会から中村仁教育長、そ
して文化協会の西山義信参
与、岩本久美子参与の併せ
て15人のご臨席をいただきました。

初めに鈴木貢会長が、会
員表彰者の栄誉を称え主催
者挨拶をしました。また、
昨年度の新事業として実施

事業はギャラリー部門が担
当し、「ギャラリーフェス
ティバル」として開催する
と決定しました。

毎年、好評の呈茶席は、
交流の場として多くの会員
の皆様に参加していただい
ております。今年は晴天に
恵まれ、心地よい風に包ま
ながら会話が弾んだ様子
でした。

呈茶を担当した鹿沼市茶
華道協会茶道部会及び総会

令和6年度通常総会報告 役員の改選決定 ギャラリー部門事業を実施



松井正一県議会議員



佐藤信鹿沼市長

会員の新規加入に貢献した
と成果を報告しました。
続いて、今年度のかぬま
文化協会文化功労者の会員
表彰を行いました。永年の
ご尽力を讃え、「鹿沼市美
術協会」の小林一行さんと
正人さんのお二人に、表彰
状を授与いたしました。

受賞者を代表して、飯塚
正人さんに謝辞をいただき
ました。

次に来賓を代表して佐藤
市長、松井県議会議員、谷
中恵子市議会議長（代理）の
3名からご祝辞をいただき
ました。

議事進行については、高
橋進副会長を議長として、
令和5年度事業報告・決算
報告と令和6年度事業計画・
予算及び役員改選が審議さ
れ、全て承認されました。

特に、令和6年度の部門
事業はギャラリー部門が担
当し、「ギャラリーフェス
ティバル」として開催する
と決定しました。

令和6年度より新体制に
なった、文化協会編集委員
会の委員をご紹介いたします
。小林夏江編集委員長、
板橋和子委員、寺崎昌子委
員、斎藤千恵子委員、大貫宗
正委員の5名です。活動内
容は、年に会報3回、年報1
回発行する校正作業です。
長時間にわたり活発に意見
交換をしながら、和気あい
いと活動しております。



総会の様子



呈茶席

◆◆◆◆◆ 目次 ◆◆◆◆◆
令和6年度通常総会報告 : 1
編集委員紹介 : 1
市民文化祭下記掲載 : 2
鹿沼混声合唱団 : 2
鹿民連 貢峰会鹿沼分会 : 3
演劇部会 : 3
鹿沼市民文化祭開催日程 : 4
編集後記 : 4

◆◆◆◆◆ 目次 ◆◆◆◆◆
令和6年度通常総会報告 : 1
編集委員紹介 : 1
市民文化祭下記掲載 : 2
鹿沼混声合唱団 : 2
鹿民連 貢峰会鹿沼分会 : 3
演劇部会 : 3
鹿沼市民文化祭開催日程 : 4
編集後記 : 4



大貫宗正委員



斎藤千恵子委員



寺崎昌子委員



板橋和子委員



小林夏江 編集委員長

かぬま文化

No.178

発行人 鹿沼市文化協会
発行責任者 会長 鈴木貢
編集委員会 委員長 小林夏江
印刷所 晃南印刷(株)

つくろうのはそう鹿沼の文化

第46回

鹿沼市民文化祭

令和6年9月28日土 → 12月15日日

しもじ ゆうき

下司 愉宇起
うたのつどい

9月28日土 第46回鹿沼市民文化祭開幕式アトラクション

鹿沼市文化協会第14回文化セミナー

開場/13:00 開演/13:30

場所/かぬまケーブルテレビホール(市民文化センター)
小ホール

整理券配布場所 文化協会事務所(市民文化センター3F)
かぬまケーブルテレビホール・鹿沼市民情報センター
鹿沼市立図書館本館

整理券配布日 令和6年8月2日(金)~



想定外!! 大盛況&大成功!!

鹿沼混声合唱団団長 寺崎 昌子

ることができ、最高の演奏となりました。

更に次回2年後の「第28回定期演奏会」は、創立50周年の節目の公演になります。

何とか開演時間を遅らせてほしいとの連絡がありましたが、それには応じることはできず、定刻に開演しました。

佐藤信市長のご挨拶の中で、沢山の人達が会場を目指し坂道を歩いていく様子を見てきたと、冗談を交えながらお話をし、開演しました。

演奏が進行するにつれ、会場の席も徐々に埋まり、一部終了時には、ほぼ満席。想定外!! 大盛況の演奏となりました。

この度、私達の合唱をお聴きくださった全ての方々に、心より感謝申上げます。

これからも、鹿沼混声合唱団を温かくお見守りいただければ幸せに存じます。

合唱の真髄である美しいハーモニーを目指し、片岡真里先生のご指導のもと、更に研鑽を重ねて歌い続けていきたいと思います。

令和6年5月19日、かぬまケーブルテレビホール大ホールで、「第27回鹿沼混声合唱団定期演奏会」を開催いたしました。前回から5年ぶりの開催となり、その間には未曾有のコロナ禍により、余儀なく活動中止になりました。いつ明けるとも知れない試練の時を乗り越えての開演となり、不安もありましたが、練習を重ねてきた日々を信じ、本番に臨みました。

どの位の来場者になるかは、幕を開けてみないと分からず、祈るようないでおりました。会場係から、大勢詰めかけているので、開場時間を早めるようにとの要請が入りました。そのまま後には、センター内の駐車場と御殿山駐車場も満車になってしまい、市役所駐車場へ誘導しました。開演時間が迫る中、会場に向かう沢山の人達が坂道を歩いて来ているので、

思いでました。会場は、幕を開けてみないと分からず、祈るようないでおりました。会場係から、大勢詰めかけているので、開場時間を早くするようにとの要請が入りました。そのまま後には、センター内の駐車場と御殿山駐車場も満車になってしまい、市役所駐車場へ誘導しました。開

4月に逝去された「星野富弘さん」を悼み「花に寄せて」を歌い上げ、会場一杯の拍手と掛け声を多数いたしました。ジニアファイルの皆さんとコラボした、弦楽合奏「野口雨情メドレー」では、感動と楽しさを会場の皆様と共にす



第27回鹿沼混声合唱団定期演奏会

民謡は健康の道しるべ

鹿民連

貢峰会鹿沼分会会長

大塚 益美



貢峰会鹿沼分会教室にて

日本民謡は時代を問わず、日本人の心の支えであることは誰もが認めることです。民謡を学び、維持発展させていくことは、民謡をよく愛する私達の使命だと確信しております。民謡会は、民謡が生まれ、新たにやる気が湧いてきました。健康になりたい人、民謡が好きな人、民謡をやってみたい人、民謡は誰でも唄えます。入会をお待ちしております。

隆盛を極めた民謡会も趣味の多様化、高齢化等社会構造の変化により、次第にその勢いを失いつつあります。そんな中、4年の長きにわたるコロナ禍の影響が更なる拍車をかけて、将来が大変憂慮される現状です。しかし、種イベント、ボランティア活動への積極的参加を進め、和気あいあいで樂しまんでいるからです。健康だからこそ唄えるのです。健康元気でいるみなさん

日本民謡は時代を問わず、日本人の心の支えであることは誰もが認めることです。民謡を学び、維持発展させていくことは、民謡をよく愛する私達の使命だと確信しております。民謡会は、民謡が生まれ、新たにやる気が湧いてきました。健康になりたい人、民謡が好きな人、民謡をやってみたい人、民謡は誰でも唄えます。入会をお待ちしております。



演劇雑感

演劇部会長 山縣 恒雄

鹿沼市には現在、アマチュア劇団が2つある。「遊幻空間」と「バッカス」である。「遊幻空間」は毎年、自主公演を行っておりレベルもそれなりでファンも多い。「バッカス」は主に文化祭に参加しており、今年は45周年記念公演を9月に予定しているとのことです。

両劇団とも活動を続ける上で最大の悩みは、稽古場の確保と舞台装置などの保管場所である。県央地区でも小さな劇団はいくつかあるが、継続できずに解散してしまうケースが多い。おそらく練習場と舞台装置等の保管に苦慮してしまうのだろう。公民館などの公的機関でも稽古場として利用できるが、貸し出しの時間的制約が難点になってしまう。鍵だけ借りて、後日返却すれば良いような施設があるとありがたい。

その他、学校関係で

は東中学校・鹿沼高校・鹿沼南高校が毎年参加している。小学校から参加が例年皆無で、寂しい限りである。学校が昔に比べてはるかに忙しくなっているので、演劇どころではないらしい。かつては学生が演じることで、積極性や感情の豊かさが増すのかも知れない。

りしたものだ。児童にとって演劇活動は、貴重な体験になるはずだ。演劇の持つ効用は多々あると思ふ。演劇の持つ効用は多々あると思うが、今までに一番印象に残っているのは不登校生徒が立ち直ったことだ。



東中学校「ちょっと、メロス」 2023年

に興味があるとのことで台本を渡し、一緒に読み稽古を始めた。それ以来、キャストまで演じるようになつた。しかも素晴らしい演技をしてくれた。T君が不登校生徒だったことは、後日知られたのだった。自分を巧く表現できない人が、台本を通して全く別な人間を演じることで、積極性や感情の豊かさが増すのかも知れない。

第46回 鹿沼市民文化祭開催日程

◆開幕式 9月28日(土)午後1時30分 かぬまケーブルテレビホール(鹿沼市民文化センター) 小ホール
 ◆アトラクション 下司愉悦起うたのつどい

部会名	期日	時間(予定)	会場
ホール部門	民謡民舞大会	10月6日(日)	市民文化センター 大ホール
	歌謡舞踊発表会	10月20日(日)	市民文化センター 大ホール
	音楽祭	10月27日(日)	市民文化センター 大ホール
	演劇祭	10月27日(日)	市民文化センター 小ホール
	謡曲大会	11月2日(土)	市民情報センター マルチメディアホール
	バンドフェスト	11月3日(日・祝)	市民文化センター 小ホール
	吟詠剣詩舞大会	11月23日(土・祝)	市民文化センター 小ホール
	日本舞踊	11月24日(日)	市民文化センター 小ホール
	ダンス	12月8日(日)	市民文化センター 大ホール
	琴・三味線・尺八三曲演奏会	12月15日(日)	市民文化センター 小ホール
ギャラリー	書道展	10月18日(金)~20日(日)	市民文化センター 多目的ギャラリー
	洋画・立体展	11月1日(金)~3日(日・祝)	文化活動交流館ギャラリー
	絵手紙展	11月8日(金)~10日(日)	文化活動交流館ギャラリー
	写真展	11月15日(金)~17日(日)	文化活動交流館ギャラリー
	マンガ・イラスト展	11月23日(土・祝)~24日(日)	市民文化センター 多目的ギャラリー
生活文化	フラワーデザイン展	10月19日(土)~20日(日)	市民文化センター ふれあいの広場
	華道展	10月19日(土)~20日(日)	文化活動交流館ギャラリー
	茶会	11月3日(日・祝)	市民文化センター 大会議室・和室
文芸	短歌大会	10月6日(日)	市民文化センター 大会議室
	俳句大会	10月6日(日)	市民文化センター 中会議室
	川柳大会	10月20日(日)	市民文化センター 大会議室
	史跡めぐり	10月20日(日)	まちの駅 新・鹿沼宿から出発 鹿沼市旧市街
	作品公募	短歌・俳句・川柳・創作隨筆・詩・歴史	
	文芸表彰式	11月24日(日)	市民文化センター 大会議室

*開演時間を変更する場合がありますので、ご了承ください。

地元の小学校を訪ねた時、強い光を放つ小さな器具が目に止りました。熱中症予防の「暑さ指数」の測定器でした。気温の変化によって発光の色が変わり、児童に注意を喚起するわけです。霍乱(かくれん)は、夏場に発病する熱中症の一つです。力の恐ろしさを痛感しました。命に関わる猛暑が続いていますが、ここに「かぬま文化」178号をお届けします。会員の皆様のご協力に感謝いたします。

編集委員長黒川榮三さんの退任後、その大役を担うことになってしまい戸惑っています。あまりの重圧に耐えながら、過去の「かぬま文化」を開いてみました。令和二年発行の168号には、「新編集長となって」と題し、黒川さんが、決意と抱負を述べています。そして、177号では、「編集長を退くにあたって」の記事です。短い期間でした。その間、新聞記者時代の話、校正のやり方、編集の仕方等教えて下さり、大変勉強になりました。

現在、編集委員会は一頁に紹介します。たとおり、委員5名と事務局の福田さんと共に、協力しながら活動しています。委員はそれぞれが、各団体のリーダーとして活躍されています。

「かぬま文化年報」「かぬま文化」の誌面が、会員の皆様の交流の場となりますよう願っています。微力ですが、力を合わせて責務を果たしたいと思っています。諸先輩の皆様、会員の皆様のご指導とご協力を頂きたくお願いいたします。

178号がお手元に届く頃には、この暑さが和らぎ、小さな秋の産声を聞いているのでしょうか。